

留 学 報 告 書

記入日:2020年5月30日

所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部経済学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア州立大学ロングビーチ校 現地言語: California State University Long Beach
留学期間	2019年8月～2020年5月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2020年3月31日
明治大学卒業予定年	2021年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月下旬～12月中旬 2学期:1月下旬～5月中旬 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	37,446 (2015)
創立年	1949

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料		円	交換留学のためなし
宿舍費	8,360	895,531円	大学寮
食費	4,000	428,484円	
図書費	500	53,560円	教科書代
学用品費	600	64,272円	サーフボード、メイクアップキットなど
携帯・インターネット費		71,820円	
現地交通費	500	53,560円	バス定期券(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	300	32,136円	
被服費	500	53,560円	
医療費	300	32,136円	
保険費	1,569	168,072円	形態:明治大学+留学先大学
渡航旅費	3,000	321,363円	
ビザ申請費	380	40,706円	
雑費	1,000	107,121円	
その他		円	
その他		円	
合計	21,009	2,250,506円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地: 成田空港 目的地: LAX 経由地:	
復路 出発地: LAX 目的地: 羽田空港 経由地:	
渡航費用	
①往復チケットを購入した場合 航空会社: シンガポール航空 料金: 110,000 円	
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: ユナイテッド航空 料金: 75,000 復路 航空会社: ANA 料金: 50,000 ∴合計: 235,000	
航空券購入方法	
<input checked="" type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: HIS) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: Expedia) <input type="checkbox"/> その他()	
滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例: アパート, 大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 1)	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
大学寮のサイト	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
バスルームは6名程で共有、キッチンはなく食堂で食べる形。部屋はふたり部屋でベッドと机以外は大きいものが置けないくらいの広さ。寝る時間や起きる時間もある程度ルームメイトに合わせる必要があるため、そのような事が苦手な人にはお勧めしないが、個人的にはストレスも少なく楽しい寮生活だった。	
現地情報	
1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院, 学内の診療所)	
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所: 学内の診療所)	
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例: 留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等:)	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
外務省のメルマガに登録したり、ネットでニュースを見るなど常に情報を手に入れていた。観光地や治安の悪い場所には一人で行かないようにした。また、夜は一人で外に行くことはしなかった。犯罪に巻き込まれたことはなかった。	
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
寮のインターネット接続が不安定で wifi につながらない時が多々ある。その時はデータ通信を利用するか、図書館や他の建物の近くまで行った。	
5)現地での資金調達はどうに行いましたか?(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
日本で使用していたクレジットカードを引き続き利用した。そのクレジットカードは日本の銀行口座から引き落とされるため、両親に自分の日本の銀行口座に送金してもらった。	
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。	
基本的には現地で調達できるが、常備薬などは持っていった方が安心。後は、物価が日本より断然高いので、既に持っているものは持っていった方が良い。	
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)	
授業料は親のクレジットカードで支払った。支払い時期は留学の1ヶ月前。	

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
25 単位	<input checked="" type="checkbox"/> まだ申請していないため不明。単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか？ 学部,学年で制限があったため、国際事務室に行って許可をもらった。	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Envrinmtl Issues World Economy	環境経済学
科目設置学部・研究科	Econmics
履修期間	2019 Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Dede Long
授業内容	環境に纏わる経済的問題とその規制政策について経済的手法を用いて理解・計算をする。市場の失敗やインセンティブなどに触れながら環境経済学における快適さについて考え、政策を評価する
試験・課題など	5 Quizzes, 4 problem Sets, Term Paper, Term Paper presentation, Final Exam
感想を自由記入	事前に経済学を学んだことがある人ならば簡単に理解ができる。教授の教え方は非常に丁寧で、留学生にも理解があるため授業は受けやすい。ただ、課題と小テスト、論文の比重が重い為、かなり理解を深めないと高い成績をとることは難しい。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Jazz	ジャズ入門
科目設置学部・研究科	DANCE
履修期間	Fall 19
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義/アクティブ(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Ms. Queala
授業内容	An introduction to jazz dance as a concert and entertainment art form through the study of its aesthetic principles and characteristics. Lectures and video viewing identify major choreographers, performers, choreographic works, and historical development; movement sessions explore elementary exercises in jazz techniques.
試験・課題など	Participation 30% Reading Response Quizzes 10% Performance Scavenger Hunt 10% Concert Paper 15% Midterm Exam (Written) 15% Final Exam (Creative Project & Reflection Paper) 20%
感想を自由記入	ジャズダンスについて学ぶと同時にジャズに伴うアメリカの歴史や経緯についても学ぶ。ダンスの授業であるが、講義と課題が多く厳しい印象だが、ジャズについて深く学びたい人にはお勧め。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
beginning Hip-Hop Dance		ヒップホップダンス初級	
科目設置学部・研究科	Dance		
履修期間	Fall 19		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義/アクティブ(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Amy Catfox Campion		
授業内容	This class will expose students to hip-hop dance technique and styles. We will explore the fundamentals of technical execution, movement styles, and cultural context. Emphasis will be placed on the individual's development within their study of hip-hop. This will require assessment of student's skills, knowledge and understanding. We will create a foundational understanding of hip-hop movement and culture by identifying street dance styles, developing performance skills, and working towards a basic level of competency.		
試験・課題など	<ol style="list-style-type: none"> 1. Quality of Participation (20% of total Grade) 2. Movement Exams (four exams worth 10% each, 40% of total Grade): 3. Writing Assignment: Cypher Paper (10% of total Grade) 4. Writing Assignment: Hip-Hop Dance Event Response Paper (HDERP, 10% of total Grade) 5. Final Exam (20% of total Grade) 		
感想を自由記入	ヒップホップをジャンルごとに掻い摘んで学ぶことができる。踊るだけではなく、ダンスのルーツや歴史、社会的背景について深い知識を得ることができる。クラス内でコミュニケーションも多いためヒップホップにトライしてみたい人にお勧め。ただ、初級のためヒップホップ経験者にはお勧めしない。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Surfing I		サーフィン1	
科目設置学部・研究科	Kinesiology		
履修期間	Fall 19		
単位数	1		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	アクティブ(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に110分が1回		
担当教授	Pepi Poppler		
授業内容	Surfing		
試験・課題など	Quizzes, Skill tests, Waiver, Final		
感想を自由記入	学校からドライブで30分の海岸でサーフィンをする。ボードやウェットスーツを買う必要があるため初期費用が高いが、挑戦してみたい人はトライしてみるといい。車がないといけないが、初回の授業で友人を作り乗せてもらうと良い。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Principles of marketing		マーケティング理論	
科目設置学部・研究科	Business		
履修期間	Fall 19		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Hieu P. Nguyen		
授業内容	Relation of marketing system to other activities in the firm. Firms and domestic and world marketing environments. Economic and social effects on marketing. Human behavior's effects on marketing, communications, information systems, management problems and their solutions.		
試験・課題など	10 quizzes, research participation (2hrs), 2 Midterms, Final		
感想を自由記入	マーケティングについて理論と実践を織り交ぜて理解できる。クイズとテストは、講義を聞くだけでなく教科書をきちんと読んで深く理解をしないと解けないシナリオ問題になっているため、選択問題であるが難しい。教授は大の日本好きでオフィスアワーに行けば親身に相談に乗ってくれる。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intro to Cultural Anthropology		文化人類学	
科目設置学部・研究科	Liberal Arts		
履修期間	Spring 20		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式 (チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Tom Douglas		
授業内容	This course provides an introduction to some of the issues studied by socio-cultural anthropologists (ethnographers). Anthropology is a diverse field and different anthropologists use varying theoretical approaches as well as techniques for collecting and analyzing data. This course will present the student with some of the diversity of cultural anthropological studies from the past and the present.		
試験・課題など	one term paper, two mid-terms, the final exam		
感想を自由記入	教授の説明がわかりやすく面白い。様々な人種、コミュニティについて学ぶ。人種差別の歴史について学べるため、現在にも役立つ知識を得られる。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction Fashion Industry	ファッション業界ビジネス
科目設置学部・研究科	Fashion merchandising and design
履修期間	Spring 20
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Jacquelyn Morell
授業内容	Organization, structure and interrelationship of industries and services that comprise the business of fashion. Terminology, designers, trade organizations and publications. Analysis of trends that influence fashion. Professional opportunities explored.
試験・課題など	<ul style="list-style-type: none"> • 3 Exams @ 50 each = 150 points • 3 films @ 30 points each = 90 • 2 speakers/CDC @ 30 points each = 60 points • 3 Projects @75 points each = 225 • 3 Activities @ 40 points each = 120 • Field trip to the California Market Center = 85 points
感想を自由記入	プロジェクトと課題が非常に多いが、ファッションをビジネスとして捉えている人、ファッション業界に興味がある人は楽しめると思う。プロのバイヤーの方に話を聞けたり、ファッションブランドのプロジェクトをするのが楽しかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Music and Film	音楽と映画
科目設置学部・研究科	Film
履修期間	Spring 20
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Dr. Roger Hickman
授業内容	This course presents an overview of film music from the 1890s to the present time. You will learn how music functions in a movie, observe portions of some outstanding films, and listen to a variety of film scores
試験・課題など	<p>Quiz (Chapters 1-4)</p> <p style="padding-left: 40px;">Online Quiz: 50 points</p> <p style="padding-left: 40px;">Can re-take quiz 2 times for highest score</p> <p style="padding-left: 20px;">Exam 1 (Chapters 5-13)</p> <p style="padding-left: 40px;">100 objective (one time only)</p> <p style="padding-left: 40px;">40 essays</p> <p style="padding-left: 20px;">Exam 2: (Chapters 13-22)</p> <p style="padding-left: 40px;">100 objective (one time only)</p> <p style="padding-left: 40px;">40 essays</p> <p style="padding-left: 20px;">Exam 2: (Chapters 23-32)</p> <p style="padding-left: 40px;">100 objective (one time only)</p> <p style="padding-left: 40px;">No essays</p> <p style="padding-left: 20px;">Project (see Project document under Content/Course Documents/Project)</p> <p style="padding-left: 40px;">Project: 70 points</p>
感想を自由記入	音楽と映画に興味がある人なら楽しめる。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Theatrical Makeup Design	演劇メイクアップデザイン
科目設置学部・研究科	Theater
履修期間	Spring 20
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	アクティブ (チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に105分が2回
担当教授	Gayle Susan Baizer
授業内容	Exploration of theatrical make-up design techniques and their application. Crew preparation, participation, design and application of theatrical makeup for University sponsored productions.
試験・課題など	Class assignment and additional production crew work, presentation, and writing assignments
感想を自由記入	初期費用がかかる。私はメイクアップを独学で学んでいたためこの授業を履修した。メイクアップについて学びたい人にお勧め。動物やゾンビなどの特殊メイクについて学べる

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など
リクナビ、マイナビ、CFN、外資就活ネット、みんな就、など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
第一希望は外資メーカー。外資に限らず、国際的に活躍できる場がある企業、そしてマーケティング職への道が開ける職種を積極的に選んでいきたい。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
私は三年生の夏から1年間留学しました。同じような状況で留学するかどうか迷っている方、もしくは不安な気持ちを抱いている方がいると思います。周りが就活している中、不安になる気持ちが少なからずあると思いますが、私の経験から焦る必要はないとお伝えします。留学してみると「キャリア」に対する世界の考え方が日本と全く異なることに気がつきました。周りと同じタイミングで同じように就活する選択をすることが正しいことではありません。焦らず、自分の挑戦したい気持ちを優先していいと思います。その代わりに、留学中に自己分析をすることをお勧めします。就活に限った話ではないですが、自分の気持ちの本質を理解して常に言語化できるようにしておけば、就活の際も役に立ちます。私は留学後もどのような企業に就職したいかぼんやりしていましたが、ボスカリに参加して実際に様々な企業を見定めることで自分のやりたい職種を明確にすることができました。面接や就活がどのように行われるのか肌で感じる事ができるので、就活のイメージができないという方も行ってみたいと思います。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2018年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	語学試験受験
10月～12月	留学出願
2019年 1月～3月	留学選考、留学助成金・奨学金申請
4月～7月	ビザ取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、保険申請、各種料金振り込み、出国準備、書類チェック、留学生説明会参加、留学した先輩に話を聞く、留学先履修登録、ボスカリES作成開始、等
8月～9月	現地到着、新学期イベント、説明会、履修修正、クラブ新歓、クラブ入会、生活必需品購入、教科書、備品購入
10月～12月	中間試験2回、ボスカリ選考、ボスカリイベント、次学期履修登録、期末試験、冬休み
2020年 1月～3月	冬休み、新学期開始、教科書購入、履修修正、コロナウイルスによりオンライン授業に変更、日本に帰国、就活開始
4月～7月	日本でオンライン授業を受講、留学終了、各種報告書作成、申請、就活
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

バラエティに富んだ人々の中で生活できる環境に憧れ、カリフォルニアを選んだ。私は将来、世界中の人々にそれぞれが持つ「本来の美しさ、ユニークな魅力」を伝え、自信を持って前向きに人生を歩めるようにサポートをしたいと考えている。そのために、ダイバーシティの中で自分自身を見つめ、また個性のある人々と関わり視野を広げることができる環境が自分の成長にとって必要だった。

私は、このように留学した理由を言語化できるようになるまで、留学志望書、就活 E S、面接、友人との会話などを通して、何度も気持ちを言葉にして伝える機会を与えられた。元々言語化が苦手なためその過程でかなりのストレスを感じたが、ここまで明確に理由や本質を言えるようになったことで成長を感じている。

何を目的に留学をするかはその人次第だが、なぜその選択をしたのか、人生で何をしたいのか、という本質を考え、明確に伝える必要がある。日本では無意識に周りに合わせている人が多いが、海外に行くと「私が」その選択をした理由、「私が」やりたいことを多くの方が聞きたがるからだ。たとえ英語が拙くても、その気持ちを一生懸命伝えようとする人には多くの友人ができるし、留学を充実させることができる。これは今後自分のキャリアを考えていく上でも非常に役に立つので、自分を見つめる時間も大事にしながら留学を楽しんでほしい。

留学生活で自信をなくしたり頭を悩ませるようなことが起こるかもしれないけれど、自分の本質や目指すべき方向が見えていれば悲観的になりすぎずに前向きに乗り越えることができる。上手に友人を頼り、オープンマインドで自分自身をさらけ出すことができれば、トラブルさえも楽しむことができると思う。アメリカでは自信がある人が魅力的に見えるため、「自分はできる、自分は魅力的だ」くらいの強気であることは重要だと感じた。自信をなくすことがあったり、わからないことや不安なことがある時は悩みすぎずに、先輩や留学経験者に相談してみると気持ちが楽になると思う。